



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

勝浦ロータリークラブ 49期 THE WEEKLY REPORTS

2011-2012年度

No. 20 / Total 2316

例会：2012年1月27日

発行：2012年2月3日

RI会長 カルヤン・バネルジー

第2790地区ガバナー

山田 修平

第5分区ガバナー補佐

釜田 英之

第5分区幹事

池田 哲夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC

関 一憲

クラブ研修委員会

勝浦RC

齋藤 豊久

クラブ社会奉仕委員会

鋸南RC

三橋 美子

R財団寄付金小委員会

鴨川RC

伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長

関 正己

幹事

漆原 摂子

クラブ会報委員長

渡邊 昌俊

副委員長

齋藤 麻美子

委員

石井 美香子

渡邊 ヒロ子

◆ 1月27日（金）のプログラム

勝浦市会議員 戸坂健一氏卓話

◆ 2月の例会予定

- ・ 2月3日（クラブフォーラム）
- ・ 2月10日（会員 or ゲスト卓話）
- ・ 2月13日（IM）
- ・ 2月17日（休会、IMに振替）
- ・ 2月24日（会員 or ゲスト卓話）



● 会長挨拶 関正己会長

こんにちは、ここのところ平年を下回った気温が続き、非常に寒かったですね、私の家の玄関口で7時半で-2℃でした、インフルエンザも猛威を振るっています皆さんお替りはありませんか。

先週の土曜日は例会変更にて、職業奉仕委員会の働きで、(株)西川様、そして、ぽっぽの丘様のご協力を得まして職場見学をさせていただきました。特筆すべきは、(株)西川様の工場、ISO国際規格を取得してあるだけに、それは見事な工場でした。多分、国内の水産業の中ではトップクラスではないかと想像します。今更ながら、千葉県の大原にあんなすばらしい工場があるなんて知りませんでした。私事ながら、機械工具分野で何か売り込む物はないかと思いましたが、なんと、全部オーダーメイドの特殊機械、入り込むすきが全くなく、変な言い方ですが、あきれるくらい立派な工場に関心してしまいました。

一方ポッポの丘の印象はと言えば、「寒かった」、ですね。気温4度の雨ぶりには、特に小島さん、君塚さん、鈴木（覺）さんには気の毒でした。しかし、良く集めたものです。あそこまで集めると、これもまた変な言い方ですが、キを通り越していますね。皆さん卵やグッズを求めて帰りました。会員の奥様の手作り品も販売しています。多分無税で・・・、あいにくの気温と雨ぶりだった為ゆっくりできなかった事は残念に思います。今度は、暖かい日にゆっくり行きたいものです。

話題は変わりますが、先々週の金曜日から受け入れが始まった、韓国RID3720馬山インターアクト交流会に、水野氏、岩瀬氏、池田氏、岩瀬氏と入れ替わり立ち代わりで成田、一宮、或いは勝浦とピストン輸送しましたが、皆さんそれぞれご苦労さまでした。

さん、私も含めてですが、風邪をひきながらの受け入れでしたので、今回はチョットしんどかったですね。生徒さんとの事もあり、皆ホテルでの交流会にアルコールは一滴も出なかったし、ことばは全く分からないし

(一日目の受け入れの時の水野氏の手話は光りました)、好き嫌いの或る子供だったし、チョット参りました。2日目は池田セブン迄チキンタッタを夜中11時ころ取りに行ったり、(池田氏のおごりになってしまいましたが)、翌朝はおかげでペロリと食べてくれほっとしました。もう一つ、お風呂も困りました。普通日本ですと(お風呂をどうぞ)、と言えば速やかに入り、次に入る人の事を考えますが、それが全くないのです。ホテルと間違ったのですかね。いろいろありましたが、風邪もひかせず、(池田氏の風邪が帰国してから発症しているかも)食事してくれたし、最後に記念写真を撮るころには情も湧き、空港では握手、また手を振るなど、わがままな娘さんでも、なんとなく、涙腺が緩みました。今回の強行スケジュールについて、いきさつは良くは解りませんが、ホストファミリーに対して、新世代委員長、津留氏が平身低頭の挨拶をしていました。

●幹事報告 幹事代理 中村満君

1. 国際ロータリーとロータリー財団の2011年～2012年度年次報告がHPにて閲覧可能
2. R財団より、ポリオ撲滅のための目標額が達成
3. 国際ロータリー事務局より、2月ロータリーレートは1ドル=78円
4. 米山記念奨学会は、名称を公益財団法人と移行
5. 館山ローター例会変更、2月15日⇒13日IMへ
2月29日水曜日第5例会のため夜間例会へ
6. 鴨川ローター例会変更、2月14日⇒13日IMへ
7. 千倉ローター例会変更、2月10日夜間例会
2月17日⇒13日IMへ
8. 鋸南ローター例会変更、2月9日⇒13日IMへ
9. 館山ベイローター例会変更、2月16日⇒13日IMへ
3月22日⇒休会

●委員会報告

なし

●ニコニコBOX

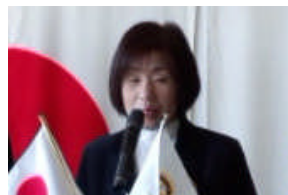
○本人誕生日

◆鈴木 寛三郎君



だいぶ日が経つと、もう誕生日は来ないのかなあと思いましたが、10年取って68歳、元気でやっています。

◆石井 美香子君



夫からのプレゼントは何も無かったんですが、孫からささやかなプレゼントがあり、それが一番でした。

○本人誕生日、結婚記念日

◆関 正己君



20日が誕生日、22日が結婚記念日、22日が孫の誕生日と歳をとっても分かり易い数字が並んでいます。

○配偶者誕生日

◆西尾 誠君



妻は71歳になりました。別段、会話という会話は無いのですが、それが一番良いのではないかと思います。毎日過ごしています。

○自主申告

◆中村 昇君



正月早々、私の母の葬儀になり、当クラブの皆様方から花輪、香典、ご焼香までいただき、本当にありがとうございました。この場をお借りしまして熱く御礼申し上げる次第です。

●卓話

○勝浦市会議員 戸坂健一様



●戸坂健一様プロフィール

昭和 52 年勝浦市浜勝浦生まれ

勝浦小～勝浦中～大多喜高～学習院大学法学部政治学科卒、大学卒業後は様々な職を経験しつつ政治家を志して活動。

知名度、資金、コネも無い中で「市民に近い政治」を実現するべく、平成 23 年勝浦市議会議員選挙に立候補、初当選。当選後も「新しい政治」を実現させるべく様々な活動を行っている。

趣味は沖縄三線、写真・動画作成

○鈴木 寛三郎君より戸坂様ご紹介

2 年ほど前、参議院議員選挙の滋賀県のある政党の公募に立候補しました。応募者は 60 名いました。2 度、3 度の試験があり、ベスト 3 に入りました。ベスト 3 で行った滋賀県民による投票ではトップ。いよいよ滋賀県の党員の選挙のときに「地盤、看板」がなく、惜しくも落選してしまいました。

現在は、渡邊ヒロ子さんのところで、塾の講師をしています。

最後に、本人からは是非伝えて欲しいということがあります。現在、独身で花嫁募集中です。皆様の周りに、これはという方がいましたら、是非推薦してください。

《日本も勝浦も絶対に大丈夫！》

皆さん今日は。

ただいまご紹介にあずかりました勝浦市議会議員の戸坂健一と申します。

本日栄光と歴史ある勝浦ロータリークラブの例会にお招きを頂きまして、誠に感謝致しますとともに、本当に有り難く思っております。

拙いお話しになると思いますが一生懸命やらせて頂きますので宜しくお願い致します。

今日のテーマは、日本も勝浦も絶対大丈夫、というテーマでお話しさせていただきます。

本当に僭越甚だしいテーマではございますが、私がこれまで感じた事、思った事を正直にお話ししたいと思えます。

私はこれまで、縁あって政治に関わって生きて参りました。先程鈴木氏にご紹介頂いた通り、一昨年滋賀県の参議院議員選挙の公募に応募致しまして、そこで初めて政治の世界に足を踏み入れまして、政治家の先生方とお話をし、また各企業の経営者の方々とお話をさせて頂いて、また、勝浦に帰って来て勝浦市議会議員選挙に立候補する事を決意してからも、こちらにご出席されておられる経営者の皆様はじめ、勝浦の多くの方々とお話をさせて頂く中で、気付いた事があります。

日本はもうダメだ、勝浦はもうダメだ、そういった事を口にされる方が非常に多く居られる様に感じたのです。日本の将来はもう明るくない、これからは中国だ、日本はもう中国に負けてしまうんじゃないか。少子化、不景気、そうした暗い話を良く聞きます。

先日勝浦市の成人式に出席した際にも、ある政治家の方が、新成人への挨拶として、「もう日本の行く末は暗い、

だから若者に頑張って欲しい」こうした趣旨のご挨拶をされていました。私はこれは間違いだと思います。

私は日本の未来を決して悲観しておりません。そしてここ勝浦市の未来も決して悲観しておりません。という事でまず今の日本の現状と、勝浦市の現状について少しだけお話しさせて頂きたいと思います。普段お世話になっている皆様に囲まれてまさに身が細る思いでございますけれども、頑張ります。

いかに日本を取り巻く悲観論が根拠の無いものか。

例えば、皆さん、テレビなどで日本の借金、つまり国債残高に付いてお聞きしていると思いますけれども、日本の国債残高が1,000兆円を超えたと言われていています。それを均等に割って、国民一人当たりで数百万円の借金だと、そう報道されています。そして、もう日本の財政はもうダメだと。日本の将来もダメだと。こうした論調ですが、これは本当だと思いますか？

日本の借金は1,000兆円、つまり我々国民の借金も1,000兆円だと思ふ方、いらっしゃいますでしょうか。確かに日本の国家としての借金は1,000兆円あります。日本は借金をしていますけれども、借金をしている以上金を貸してくれる側がいます。その1,000兆円分の金を貸してくれているのはいったい何処でしょうか。それは銀行です。そしてその銀行に預金という形でお金を貸しているのは我々です。

つまり、国の1,000兆円の借金は、我々国民にとっての借金ではなく「債権」になるわけです。それをマスコミは意図的にミスリードしている。

ここで少し具体的な数字を上げてみます。今政府の借金が1,000兆円、しかし、政府の資産も500兆円あります。これはアメリカの2倍以上あります。また、国民の個人の資産は計1,400兆円。これは世界一の額です。つまり、日本は世界一のお金持ち国家なのです。

分り易く日本の国家を一家庭の家計で例えてみます。

日本家の旦那（つまり国家）は1,000兆円の借金を抱えています。それは別に外部の銀行や闇金から借りている訳ではなく、この家の奥さん（つまり国民の個人資産）から借りています。この奥さんは1,400兆円もの資産をもつ世界一のお金持ちです。また、旦那はこっそり500兆円ものへそくり（政府資産）も溜め込んでいます。

家庭内でお金のやりとりはしていますが、外から見ると世界一のお金持ちである事には変わりはない、それが日本の現状なんです。

でもそうした現状をマスコミはまったく伝えていない。とにかく日本はダメだという事しか伝えていないんですね。これは何故なのでしょう。私には理解出来ません。日本がダメだ。とんでもないです。

昨年エコノミスト誌の調査によれば、日本は世界一革新的な国として紹介されています。また、世界一貢献度が高い国としても紹介されています。この事を知らないのは日本国民だけです。

あまり日本の話ばかりですと、勝浦はいったいどうなんだという事になりますので、今度は勝浦の現状について話をさせていただきます。

私も選挙を通して様々な方とお話をさせて頂く中で、「勝浦もうダメだよ」というお話を良く聞きました。

その度私は「そんなことはありません」とお伝えするのですが、「人口も減ってる」「土地も無い」「お金もない」どうするんだ、という悲観論が蔓延しています。

そこで、勝浦についても客観的な数字を確認したいと思います。

勝浦市の財政規模は、平成22年度で歳入88億6千万です。また財政力指数は0.50%、これは他自治体と比べても遜色無い数字です。

経常収支比率は88.7%で、これは財政の柔軟性を示すもので、会計中の人件費や債務返済などの経常支出の比率を現しますが、数字が低いほど優秀で、勝浦市の数値は他自治体と比べて優秀です。参考までに千葉市は99%となっています。また、公債費負担比率は14.3%、早期健全化基準は25%で、これを超えると経済破綻のイエローサインとなりますが、勝浦市はまだ14.3%です。更に将来負担比率は106.9%となっています。

将来負担比率とは、自治体が将来支払う可能性がある負債の一般会計に対する比率ですが、分り易く家庭に例えるなら、一年間の給与の何倍の借金があるかという数字です。つまり、数字だけ見ると勝浦市は全く健全です。

もちろん今まで、勝てるべき建設物を作ってこなかったという事はあります。これから市民文化会館を建てる、給食センターも建てる、建てなければならぬものが沢山あるのにその分のお金を使ってこなかったというのはありますが、数字だけ見れば勝浦市は健全な状態にございます。しかし街を歩いていると、「勝浦市はもうダメだ」と。そうした論調がメインで流れています。これは一体何故なんだろうと、いつも考えます。

根拠の無い幽霊の様な悲観論が蔓延している様に私は感じます。皆さんはどう思われますでしょうか。

勝浦は大丈夫です。

ではこれから勝浦市はどうすべきかという事が問題だろうと思います。今、少し現状をお話しさせていただきましたが、今後我々がどうすべきか、という事をお話しさせていただきますと思います。

私は勝浦市の未来を全く悲観しておりません。勝浦市には綺麗な海があります。美しい山もあります。大学もある、歴史ある朝市もある、勇壮なお祭りもある、こちらにいらっしゃる皆様の様な素晴らしい方々が居られる、私は成年会議所にも所属しておりますが、そこにも活動的なメンバーが沢山います。勝浦タンタンメン船団の活躍を見ても解る様に、独創的な、創造力溢れる方々が沢山居ります。人材が溢れかえっている。これで勝浦市の未来が良くならない筈がございません。

では何が足りないか。勝浦市に欠けているのは、「覚悟」と「創造力」だと思います。何故覚悟と創造力かと申しますと、勝浦には「絶対に勝浦市は良くなるんだ」という覚悟が足りないんじゃないかと感じるからです。たったそれだけです。しっかりと覚悟を持って自信の仕事に邁進すればよいのです。

例えば誰かに、勝浦市を良くしたいですよ、と伺った時、はい。良くしたいです。とお答えになります。でもその後に「でも」が付いてしまいます。「勝浦市良くしたいです、でも土地が無い」とか、「勝浦市良くしたいです、でもお金がない」「勝浦市良くしたいです、でも人がいない、人口少ない」という風に「でも」が付いてしまいます。自信を持って「勝浦市を良くしたい！」と言える方は残念ながら殆どいらっしゃいません。これが問題なのだと思います。

先程成人式の話も少しさせていただきましたが、悲観的な話をするると若者はそれに染まってしまいます。産経新聞のデータによれば、成人式参加者の8割が日本の将来を悲観してると。それは何故か。若者は皆様方、オピニオンリーダーである社長の皆さん、あるいは政治家の言葉を信じてしまいます。それだけ皆さんは責任あるお立場に居られる方々です。ですから、是非自身と誇りを持ってお仕事に取り組んで頂きたいなと思います。

私は本当に旅行好きで全国各地旅行に行きました。

軽自動車では北は青森から南は九州まで。本当に色々な所に行って参りましたが、観光地として成功している、あるいは事業に成功している自治体、また或は住民の皆さんがみんな幸せに暮らしている土地。皆共通して特徴があります。

言葉の後ろに「でも」が付かないんですね。「私たちは幸せになります」「この事業を成し遂げます」の後に「でも」が付かないんです。自信を持って皆さん取り組んでおられる。それをごく当たり前に実践しておられる。という所が特徴だと思います。

例えばお隣のいすみ市に行政視察に行った時のことですが、いすみ市では、空き家を利用した空き家バンク制度というものを導入し、田舎暮らしを望む人間と空き家のオーナーを結びつける仲介事業を市が行っています。

その担当者とお話をさせて頂いたときの印象は、決して忘れません。必ず成功するんだ、という信念と自信を持って仕事に取り組んでおられたからです。残念ながら、勝浦市の職員の方にはこういう方はまだ居られません。これが問題だと思います。

改めて少し説明しますと、この制度は、いすみ市が仲介役となって移住に関する情報提供や、移住希望者と不動産業者のマッチングを行い、いすみ市内への移住・定住を促進させる事を目的として導入されたもので、平成22年からの実績では、空き家物件登録数：13件、空き家の利用希望登録数：47件、成約物件数：8件、成約数：9件と、既にかかなりの成果を上げています。

ここで私がすごいなと思ったのは、勝浦市で「空き家」というと、あまり良い印象はありませんが、いすみ市の担当者から話を聞くと、「空き家は財産だ」と。都会のお客さんが来てくれる素晴らしい財産だと言う訳です。空き家をマイナス要素としてではなく「地域資源」として捉え、それを有効活用する為に不動産のプロである宅建有資格者を職員として雇い業務を担当させる等、移住定住促進の為に先進的かつ積極的な取り組みを実践されていました。何より、この事業に対する市職員の皆さんのモチベーションの高さ、意欲の高さ、知識の深さに心から感心しました。

また、お隣鴨川市でも去年から新しい取り組みをされています。今年1月から鴨川市を舞台にした「輪廻のラグランジェ」というアニメが放映されています。

これは深夜番組ですが、全国放送で全24話放送されます。そして毎回鴨川市が舞台となり、劇中で鴨川の観光名所などが紹介されます。アニメの誘致に鴨川市は成功したのです。これは大変な経済的、文化的効果があると思います。皆さんアニメというあまり良い印象は無いかもしれませんが、少しだけ成功例を挙げます。埼玉県久喜市のアニメによる町おこし成功例を見てみます。

2007年に「らき☆すた」というアニメにおいて埼玉県久喜市鷲宮神社が舞台となり、ファンの間で話題となりました。その結果どうなったかといいますと、埼玉県鷲宮神社の正月三が日の参拝客数だけみても、2007年で9万人、2007年4月「らき☆すた」アニメ放映、2008年で30万人、2009年で42万人、2010年で45万人、2011年で47万人、とどんどん増えています。これはもうアニメの効果ですね。そうした重要な効果がある事を、鴨川市はいち早く察知して、民間の若者も登用してアニメの推進委員会というものを去年の段階で作っている。それが功を奏して、アニメクリエイターの側から、アニメを是非鴨川市でやりたい、というお話があったそうです。とにかく、鴨川のためになる事をやる。それに向かって信念を持って「疑い」を持たずにやるという事に取り組んでいます。

勝浦市はまだまだこの「疑い」が沢山あるんですね。その「疑い」というものはまったく意味が無いんだという事をご理解頂きたいのです。勝浦市は、何度も繰り返しますが、こんなに有望な自治体というのはありません。財政的な指数は健全、その上で、海もある山もある、大学もある。そして皆様方の様に熱意ある素晴らしい方々が居られる、これで良くならない筈がございません。皆さんどうか自信を持って頂きたいと思います。私も一生懸命取り組んで行きます。

また、この場をお借りして少し勝浦若潮高校のお話もさせて頂こうと思います。今勝浦若潮高校の存続が問題になっておりますが、これは県教育委員会のとんでもない愚策、傲慢極まりない判断です。

勝浦若潮高校は、1901年に「勝浦水産補習学校」として開設されて以来、110余年もの歴史を誇る伝統校です。それをたった6年前に御宿高校と統合させたのは県教育

委員会です。その結果、漁業科、水産科、通信科といった学科を無くして、海洋科学系列という学科に統一してしまいましたが、これによって漁師の育成はほぼ不可能になりました。ただ水産高の伝統は海洋科学系列にかろうじて残りました。しかし、今度の統合案ではこの海洋科学系列を廃止する、そして大原高校に統合する。

ということは、この110余年の歴史を有する水産科の伝統を失うという事に他なりません。この地域の基幹産業は漁業です。漁業を中心とする産業を守る為には、水産高校は絶対に必要です。

ましてや、先の東日本大震災によって、東北地方の漁港、水産高校が壊滅の危機にある今、水産高校の重要性というのは日々高まっております。どうやって漁業後継者を育てるか、どうやって漁業後継者になりたいという人を集めるか。その拠点となるのが水産高校です。その重要な水産高校を無くすという県の判断は、まったくこの土地の実情を無視したものです。これを何とかして止めさせなければなりません。県の教育委員会は市の管轄ではなく、なかなか難しい相手ではございます。これを覆す為には、「県民としての」皆様方のお力添えが大変重要になります。

明日1月28日午後6時から、国際武道大学にて県教育委員会主催による勝浦若潮高校統合案の説明会が開催されますので、お時間のある方は是非ご参加頂いて、きつい質問を浴びせて頂けると助かります。

私も精一杯勝浦高校存続に向けて努力致します。

とにかく、勝浦市の未来も、日本の未来も、絶対に大丈夫だと言い切れます。根拠の無い悲観論にどうか惑わされぬよう、お願い致します。

以上で話を終わります。有り難うございました。

出席報告 1月27日(金)

出席委員会 手塚 明宏 委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
37名	25名	6名	6名	83.78%

欠席：浅野玄航、内田秀実、斎藤義典、吉野裕子、渡辺保、渡辺幸男